



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
 URL:http://www.mokusankyo.com
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

- 目次
- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 地域材利用拡大緊急対策がスタート | 4. 会議・イベント等 |
| 2. 共同納材組織設立の動き | 5. 2月住宅着工状況 |
| 3. 酒田飽海支部の活動 | |



1 地域材利用拡大緊急対策事業がスタート!!

3月29日(火)に、山形市内ホテルキャッスル会議室にて、第3回山形県地域材利用推進協議会(阿部昭会長)を開催し、事業計画について関係団体等から意見をうかがった。

この事業は、平成27年度国庫補正事業として、全木連が取りまとめ団体となり各県木連の地域における木材需要拡大の普及啓発を支援するもので、平成26年度に続く大型ソフト補正事業である。県木産協は全木連に対し取り組みを提案し、3月23日に内示をいただいたもので、従来の川下対策の拡充の他、特に木造施設拡大のための各種研修やウェブサイトを活用した地域材のPR環境の整備等を行う。但し予算的には、昨年度の約半分の1400万円となっており、より適切な使い方が求められている。取り組みの概要等は次のとおり。

(1) 県地域材利用推進協議会の開催(構成は下表のとおり)

木材利用関係団体等を構成員とし、行政機関等をアドバイザーとする「地域材利用推進協議会」を開催し、普及啓発内容を検討協議すると共に、協力体制を確立する。計画及び実施内容の評価・検証時の2回開催予定。

	所 属 団 体	代表者職 氏名(敬称略)	摘 要
1	山形県木材産業協同組合	理事長 阿部 昭	会 長
2	山形県森林組合連合会	代表理事会長 佐藤景一郎	
3	やまがた県産木材利用センター	理事長 安部政昭	副会長
4	山形県建設労働組合連合会	委員長 三浦一男	副会長
5	一般社団法人山形県建設業協会	会 長 澁谷忠昌	
6	一般社団法人山形県建築士会	会 長 平吹和之	
7	一般社団法人山形県建築士事務所協会	会 長 伊藤 剛	
8	NPO 法人やまがたの木・住環境共生ネットワーク	理事長 荒井 進	監 事
9	大江町型住宅販売会	会 長 藤野和男	
10	(協)やまがたの木乾燥センター	理事長 黒沼亨二	
11	金山杉住宅をつくる会	代 表 阿部利広	
12	山形県プレカット関係団体	代 表 松田 賢	
13	山形県 JAS 製材連絡協議会	副代表 相原吉弘	
14	(株)沼澤工務店	代表取締役 沼澤貞義	
15	もがみ手業のものづくり協議会	会 長 鈴木信夫	
その他	山形森林管理署	署長(7日着任) 西川晃由	アドバイザー
〃	山形県林業振興課	林業振興課長 安達喜代美	〃
〃	山形県建築住宅課	建築住宅課長 櫻井 信	〃

(2) 県内外の木材関係イベントへの出展 (継続)

県産木製品や木造建築技術等の PR のため、県内の関係事業者等に広く呼びかけ、県内外の関係イベントに製材品や住宅構造躯体等を出品展示し県産木材の需要拡大を目指す。(耐震住宅博覧会、県林業まつり、県環境展等)

(3) 木工品プロダクトコンペ及びショッピングセンター等での展示会等の開催 (拡充)

本県の木材資源や木工技術を活用した製品開発を促進するため、昨年度好評だった木工品プロダクトコンペ及び展示会、事例集の作成等を行い、身近な木製品の普及に努める。

また、若い世代が集う郊外型ショッピングセンターの一角に県産木材の常設展示(一定期間)等による PR を実施する。(一定期間、一定のエリアを借受け、プロダクトコンペ優秀作品や、身近な木製品の展示、木材関係グループのパフォーマンス等も行い普及啓発を図る。県内の大型店舗 2 ケ所予定)

(4) 森林・木材体感バスツアーの開催 (継続)

子育て世代を対象にした、森林、加工工場、住宅建設現場等を巡る「体感バスツアー」により、木材に対する認識の向上を図る。(公募 2 回実施)

(5) 非住宅等の木構造設計等に関する研修会の開催 (新規)

地域の流通材及びプレカットを用いた中大規模木造建築等を組織的に促進させるため、木材・設計・施工業界等を対象に、「現代における森林・木材産業の役割」「都市部の商工業施設の木造化の設計及び施工」「中高層施設の木造・木質化の現状」等の研修会を継続開催し、関係業界の方向性について認識の統一を図ると共に推進事業者の確立を目指す。

(6) マスメディアを使った県産木材等の PR (拡充)

県内各地で取り組まれている、県産木材の利用等に関する PR 広告を連続的に掲載し県民の関心と認識を高める。公共建築物建設及び木質バイオマス発電、農林大学校林業関係学科の開講、プレカット協会設立の動き、乾燥 JAS 製材工場認定への取り組み等に焦点を当てた新聞一面を使った情報提供、普及啓発を実施。(3 回程度)

(7) web サイトを活用した県産木材製品の PR (新規)

インターネットを活用した PR について、木材業界も本格的に参入する時期に来ている。木産協の HP へのアクセス等について整備を図る。(リスティング広告やディスプレイ広告(バナー)による告知と HP への誘引、制作テレビ番組をユーチューブにアップロードし、若い世代を中心に幅広い層へアプローチする。HP の充実等)

会議では、2020 年オリンピック施設への納材が可能となるような仕組みの構築について県行政への働きかけや、木工品プロダクトコンペのコンセプトにより地域に貢献可能な、拡大が予定されている県内「道の駅」での販売を加えること、地域材を活用した住宅設計の提案、地域材を活用する建築技術の伝承等に関する抜本的取り組み等多岐にわたる提案があり、限られた期間や予算の中で、事業内容に盛り込めるかどうか事務局で検討することになった。

これら取り組みを効果的に展開するにあたり、組合員の皆様の御協力が不可欠でありますので、よろしくお願いいたします。

2 協和木材等への共同納材組織設立の動き

協和木材への納材組織の検討について新たなステージを迎えている。本年10月頃からの集成材工場の試運転に向けて体制を整える必要があるが、構成予定団体が置かれている立場が異なることから、様々な課題について、当面、素材流通協議会を立ち上げ、検討することになった。

(1) 協議会設立準備委員会の開催

3月28日(月)、村山総合支庁において、標記準備会が開催され、理事長、専務理事が出席した。決定事項は次のとおり。

- ア 協議会は、来るべき時期に設立予定の協同組合との継続性を重視し、その組織体制を想定した形とし、当面、事務局を森林協会内に置く。
- イ 業務内容として①需給情報ネットワークの構築、②木材取引システムの整備に向けた調査・検討 ③協同組合設立に向けた課題検討及び準備等
- ウ 常勤職員1名のほか、団体からの兼務職員が事務を担う。(木産協よりも派遣)
- エ 経費は、補助金及び各団体負担金で賄う。(木産協は半年分で40万円程度拠出予定)
- オ 素材流通協議会設立の月日は、4月25日(月)が予定されている。

(2) 共同納材組織設立の課題等

行政界を超えた木材流通システムが存在し機能している中で、新たな組織でどのようなメリットの享受が可能なのかが協同組合設立成功のカギとなってくる。このため、次の課題について、協議会で検討していくことになった。

- ① 手数料及び負担緩和策 (搬出支援等の助成事業、施設整備等での優遇等)
- ② 事務局の設置、人事の方針、予算 (調整可能な人材の確保、県の予算支援等)
- ③ 既存団体の収入減対策 (既存事業体への取りまとめ事務の委託等)
- ④ 法人化への出資方法・額 (団体単位とするのか個別事業体でも可とするのか)等

これらについて、構成予定団体の思惑の違いが表面化しており、調整には時間がかかることも予想される。スケジュールだけが先行している面もあるが、各団体の経営の根幹に関わる問題も含んでいることから、十分納得がいくまで検討する必要がある。

また、その間の協和木材への納材については、これまでの各団体の納材体制から、要請数量について責任を持って納材することは十分可能と判断している。

木産協に対して、協和木材側から示されている調達数量の「目安」は3万m³程度であり、木産協組合員の力量からすれば、十分達成可能である。(なおB材の捉え方に課題がある)

協同組合等の設立に関しては、このように、協和木材への素材供給は現体制でも可能であり、協同組合設立に関して抱える課題について十分時間をかけて検討する必要があると考えている。出だしが大切であり拙速は禁物である。

(3) その他 (協和木材・新庄工場以外)

4月1日から、合板用材(石巻市)や集成材用材(塙町、温海町)、木質バイオマス用材(鶴岡市、酒田市、最上町、寒河江市、村山市、米沢市)等に関する共同出荷を始めており、希望者は木産協宛、至急連絡願います。

また、県の搬出支援(森林資源循環利用促進事業)は本年度も実施される。民有林の間伐材や森林経営計画林分等からの出荷材が該当する。

これ以外(補助金無し)でも共同出荷を実施しているのでご相談願います。

3 木産協酒田飽海支部の活動

木産協酒田飽海支部（支部長／阿部昭）では、地域組合活動の一環として、(協)やまがたの木乾燥センター及び出羽庄内森林組合と連携し、1月29日に庄内町原田町長あて、庁舎建設を目指した「地域木材産業振興」に関する要望書を提出した。

また、地域の林業団体からも立派に育った地域材利用の要望書が提出されており、役場当局も、4月以降、地域材の活用を踏まえた基本設計に入ることになった。

県内の各支部も、公共施設の木造化等について、活発な要望活動を展開していただきたい。また、支部組織が崩れている地域は、現在の地域の理事を中心に、早急に支部確立の話し合いに入って下さる様願います。要望書の内容は次のとおり。

地域木材産業振興に関する要望書

木材産業の振興につきましては、日頃から格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

また、貴町におかれましては、「公共施設の木造化」、「間伐材の利活用」等の様々な地域材利用促進対策を積極的に推進されておられますことに心より敬意を表する次第であります。

さて、林業・木材産業施策全般については、国の森林・林業再生プランや公共建築物等木材利用促進法の施行など、国産材利用促進に向けた環境は着実に整備されつつあります。

この庄内地域の豊富な森林資源は利活用できる成熟期を迎えつつあり、さらには地産地消の運動も盛んに叫ばれております。しかしながら、木材価格の低迷や一部地域では地域材の建築物への使用の停滞等、地域木材産業界を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

このような状況を打開し、木材産業を中心とした地域の活性化を図るためには、豊富な森林資源を核とし、川上から川下まで一体となった循環型社会の構築と、需要動向に即応した新たな高品質木材の安定供給体制の確立が、きわめて重要であると考えております。我々木材・製材業界といたしましても、活性化に向けて自助努力する所存であります。

特に、今後整備予定と聞いている下記物件については、更なる地域材の利用促進に特段のご配慮をお願い致しますと共に、地域木材産業界としての具体的提案の場の設定について併せてお願い申し上げます。

【事業予定物件】

- 町役場本庁舎整備事業の木材の分離発注
- 町事業全般における積極的な地域材利用促進

4 会議・イベント等

(1) 新年度挨拶廻り

恒例の年度当初の挨拶廻りを次により行う。理事長、副理事長等が参加予定。

日時 : 平成28年4月7日(木)10時～

箇所 : 県庁林業振興課、みどり自然課、建築住宅課等、その他関係団体

(2) グリーンクラブ総会日程

グリーンクラブ支部(松田賢会長:寒河江市、天童市、河北町の組合員で構成)の定期総会が開催される。木産協からは専務理事が出席予定。

日時 : 平成28年4月12日(火)17時～ 会場 : 寒河江市内催事場

(3) 木産協役員会日程(3月号の再掲)※ H28年度第1回役員会

日時 : 平成28年4月26日(火)15時～ (監査は13時頃～)

会場 : ホテルメトロポリタン山形(山形市香澄町・023-628-1111)

議題 : 総会議案、部会制の設置等

(4) 山形県プレカット協会の設立総会

本県の住宅着工等の減少等に代わる新しい木材需要創造のため、非木造施設及び低中層施設の木造化等を目指すプレカット事業者が連携し新たな団体が設立される。

日時 : 平成28年4月28日(木)15時～

会場 : ホテルメトロポリタン山形(山形市香澄町・023-628-1111)

その他:関係者に別途ご案内を申し上げます。

(5) H28年度木産協総会(3月号の再掲)

日時 : 平成28年5月26日(木)15時～

会場 : ホテルメトロポリタン山形(山形市香澄町・023-628-1111)

議題 : H27事業報告・収支決算、H28年度事業計画・収支予算、政治連盟総会等(役員改選無し)

(6) -1 南陽市文化会館が「ギネス世界記録」に認定される

南陽市文化会館が「世界最大の木造コンサートホール」(largest wooden concert hall)「認定数値:座席数1403席」に認定され、1月に認定証が授与されている。

山形県の木造耐火構造技術のレベルの高さにより生み出されたもので、関係各位は本県に伝わる古代の一連木造施設も含めて全国にPRしていただきたい。

(大ホール:幅28m、奥行き35m、高さ16m。事業費66億8639万円)

(6) -2 山形県木材統計の発刊(H25～26年)

業界人必携の一冊。特に木産協幹部会員は全体像把握のために所有下さい。木産協発行(山形県林業振興課監修)の標記木材統計は、一冊二千円で頒布しております。木産協までご連絡下さい。

(6) -3 電力自由化に関するコスト削減サービスについて(同封パンフレット参照)

4月1日からの電力自由化に伴う、電力会社の選択や電気基本料金の及び保守点検固定費の削減手法等についてノウハウのある、株式会社エスコからご案内があります。関心のある方は御連絡下さる様ご案内します。同社は福島県木材協同組合連合会での実績もありご紹介するものです。

この機に、「電気の固まり」でもある製材関係施設のコスト削減にお取り組み下さい。

(6) -4 平成27年度木工工作プロダクトコンペ作品集

「木産協だより」に1部同封します。本年度のプロダクトコンペに木工関係者を勧誘するために作品集がさらに必要な組合員がおりましたら、木産協までご連絡願います。

5 2月期の住宅着工状況

昨年の住宅着工の伸び分は、大半が大手メーカーや2×4に食われたとの情報もあり、地域材の活用の道はこのままでは多難である。昨年度作成した地域材利用住宅のパンフレットを活用したいという要望があまり無い中では、むべなるかなの感もある。4月からの緊急対策事業に感心を寄せて欲しい。

1 県内新設住宅着工戸数(平成28年2月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
2月	367	194	124	0	49	364	3	297	80.9%	166	13	118
27.1~2	616	319	198	0	99	612	4	500	81.2%	307	21	172
3月	366	278	62	1	25	363	3	343	93.7%	262	14	67
4月	452	302	105	1	44	446	6	425	94.0%	288	11	126
5月	471	313	102	0	56	465	6	417	88.5%	330	11	76
6月	576	358	123	1	94	574	2	448	77.8%	322	15	111
7月	511	289	174	6	42	507	4	431	84.3%	305	7	119
8月	500	276	195	1	28	486	14	444	88.8%	267	8	169
9月	542	267	223	1	51	532	10	437	80.6%	279	11	147
10月	417	238	133	2	44	409	8	367	88.0%	247	9	111
11月	515	270	180	0	65	510	5	437	84.9%	280	15	142
12月	437	166	226	2	43	434	3	326	74.6%	251	8	67
28.1月	331	135	132	1	63	330	1	280	84.6%	169	7	104
2月	274	171	59	0	44	270	4	249	90.9%	155	4	90
対前月比	82.8%	126.7%	44.7%	0.0%	69.8%	81.8%	400.0%	88.9%	-	91.7%	57.1%	86.5%
対前年同月比	74.7%	88.1%	47.6%	-	89.8%	74.2%	133.3%	83.8%	-	93.4%	30.8%	76.3%
27.1~当月計	616	319	198	0	99	612	4	500	81.2%	307	21	172
28.1~当月計	605	306	191	1	107	600	5	529	87.4%	324	11	194
対累計前年比	98.2%	95.9%	96.5%	-	108.1%	98.0%	125.0%	105.8%	-	105.5%	52.4%	112.8%

2 地域別新設住宅着工戸数(平成28年2月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	274	605	74.7%	98.2%	529
山形市	66	176	51.2%	77.2%	147
上山市	7	11	116.7%	110.0%	8
天童市	20	56	50.0%	93.3%	53
山辺町	6	7	75.0%	70.0%	6
中山町	8	19	800.0%	1900.0%	9
東南村山	107	269	58.2%	87.1%	223
寒河江市	6	17	33.3%	54.8%	11
河北町	0	1	0.0%	6.3%	1
西川町	0	0	-	-	0
朝日町	0	0	0.0%	0.0%	0
大江町	3	4	-	-	3
西村山郡	9	22	31.0%	45.8%	15
村山市	14	16	100.0%	100.0%	16
東根市	31	64	100.0%	106.7%	59
尾花沢市	3	3	300.0%	150.0%	1
大石田町	0	0	-	-	0
北村山	48	83	104.3%	106.4%	76
村山地域	164	374	63.3%	86.0%	314
新庄市	5	14	500.0%	1400.0%	14
金山町	0	0	-	-	0
最上町	0	0	-	-	0
舟形町	0	0	-	-	0
真室川町	0	0	-	0.0%	0

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	0	0	-	-	0
鮭川村	0	0	-	-	0
戸沢村	0	0	-	-	0
最上地域	5	14	500.0%	700.0%	14
米沢市	9	28	26.5%	42.4%	27
南陽市	2	11	40.0%	110.0%	11
高畠町	2	10	100.0%	200.0%	10
川西町	2	2	-	200.0%	2
東南置賜	15	51	36.6%	62.2%	50
長井市	1	10	33.3%	200.0%	10
小国町	0	0	-	-	0
白鷹町	0	3	0.0%	300.0%	3
飯豊町	2	2	200.0%	200.0%	2
西置賜	3	15	60.0%	214.3%	15
置賜地域	18	66	39.1%	74.2%	65
鶴岡市	47	69	276.5%	230.0%	57
三川町	3	4	100.0%	100.0%	4
庄内町	2	5	100.0%	125.0%	5
田川	52	78	236.4%	205.3%	66
酒田市	35	73	92.1%	155.3%	70
遊佐町	0	0	0.0%	0.0%	0
飽海	35	73	89.7%	140.4%	70
庄内地域	87	151	142.6%	167.8%	136

注:累計は平成28年1月~